

笹川保健財団 地域啓発活動助成

2022 年 1 月 21 日

公益財団法人 笹川保健財団

会長 喜 多 悦 子 殿

2020 年度地域啓発活動助成 活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

湯布院町の様々な場で働く看護職が繋ぐ地域包括ケア推進

活動団体名： ゆふ IN heart （湯布院地区看護職連携推進の会 ）

活動者（助成申請者）名： 梅尾 さやか （所属 ゆずの木クリニック）

I. 活動内容・実施経過

活動の意義

地域包括ケアシステム構築のビジョンの下、医療の機能分化と在宅医療の推進が明確になり、病院完結型から地域完結型の医療・介護にシフトする現状がある。その中で多職種を結び、医療依存度の高い高齢者等の在宅生活を支える等、「医療」と「生活」を視野に活動できる看護職は多様な場での役割を求められている。医療や介護が必要になっても住み慣れた地域生活に早期復帰でき、地域での暮らしを継続するために適切なケアを提供できるよう、町内のあらゆる場で働く看護職の「連携強化」と「専門的な能力強化」が必要であると考え。また、湯布院は平成 28 年 4 月の熊本地震の被災地でもあり、災害時等の不慮の事態にも、職域を越え、看護職が連携を取り、対応可能なネットワーク体制を町単位で考える必要がある。

上記の主旨で 2018 年 9 月に湯布院地区看護職連携推進の会「ゆふ IN heart」を発足、活動を継続している。

活動目的

1. 湯布院地域全体で保健医療福祉など様々な場所で働く看護職の役割を知り、顔の見える関係をつくり、対象者の継続看護や災害時等の非常事態での看護連携体制を構築する
2. 湯布院地域における高齢者等の支援の実際や在宅医療の現状、課題を踏まえ研修会等を開催し、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を遂行する能力を養う

活動期間

2020 年 4 月 1 日～2021 年 12 月 31 日（活動期間延長）

活動計画

1. 運営会議の開催
町内の病院 3 施設、診療所 2 施設、有料老人ホーム 1 施設、由布市の健康増進課・福祉課、地域包括支援センターの看護職の代表（委員 11 名）で実施
2. 研修会の開催
課題よりテーマを抽出し、湯布院町の看護職対象の「連携強化」と「専門職としての能力強化」へ向けた研修等の開催

活動結果

1. 運営会議の開催（詳細は資料）
2020 年度 メール会議 5 回、オンライン（zoom）会議 2 回
2021 年度 オンライン（zoom）会議 4 回 を開催
- 議題
1. 情報共有と検討
それぞれの組織で抱えている問題や現状を報告。専門的な知識や情報を持つ委員から助言を得、情報共有を行う
 2. 課題の整理から今後の委員会の具体的な活動計画の検討
特に新型コロナウイルス感染症に関する情報共有が多く、現場で困っていることも含め

活発な意見交換が実施できた

2. 研修会の開催

看護職から見た湯布院地域における高齢者等の支援の実際や医療の現状から
課題の抽出し、zoom による研修会を実施

◇ 日 時：令和 3 年 12 月 6 日（月）18:30～19:30

◇ 内 容：1.「認知症初期対応チームの活動について」

講師 由布市認知症初期集中支援チーム

2.「新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して」

講師 日野病院 看護部長 後藤 朋子氏

◇ 方法：Zoom によるオンライン研修

◇ 参加人数：43 名

◇ アンケート結果（詳細は資料）

① 回収率：67%

② 研修参加者の勤務先・年齢層

医療機関・福祉施設・行政関係と地域で働く看護職の参加があった

年齢は、50 代・60 代が多く、若い世代の参加が少なかった

属性	医療機関	福祉施設	行政機関	学校関係	その他
	47%	32%	7%	0	14%
年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代
	7%	3%	18%	43%	29%

③ 研修会の評価

顔の見える連携・今後の業務に、大いに役立つ・役立つと全員が回答していた

属性	大いに役立つ	役立つ	あまり役立たない	役立たない
講義 1	60%	40%	0%	0%
講義 2	89%	11%	0%	0%

④ 自由記載

意見や感想が多く、研修会の内容や「ゆふ IN heart♡」への今後の活動に対して
関心が高いことがうかがわれた

II. 活動成果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、また、通常業務の状況下で、当初計画
していた定期的な会議や研修会の開催の中止や変更を余儀なくされた。しかし、オンライン会議や
オンライン研修の手法を学ぶことが出来き、感染が治まった状況下で研修会が開催できた。

以下、活動計画に沿って成果を報告する。

1. 運営会議の開催について

メール会議やオンライン会議により、地域における医療体制の現状・行政の取り組み状況、各々の通常業務における疑問解決等、タイムリーな情報交換・共有ができた。また、会議に参加することで、メンバー間の「顔の見える関係」が出来、日々の業務において連携がより深くなった。

2. 研修会の開催について

オンライン研修は感染者数が減少しているタイミングで開催することができ、地域や各組織での課題に向けた情報提供を行うことができ、参加者がそれぞれの立場で今後どのように活動を行うべきか考えるきっかけになった。

「認知症初期対応チームの活動について」は、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援することの重要性や認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供について、主体的に自分の立ち位置でどう行動すればいいか理解できた。

「新型コロナ感染症クラスターを経験して」は、いつ、どこでどのような自然災害や感染症が発生した場合でも、患者や利用者等に対して必要な医療・介護などのサービスが安定的・継続的に提供されることが重要。それぞれの組織が業務を継続出来るように事前に考えておく業務継続計画(BCP)の策定の必要性を示唆された講演であった。

Ⅲ. 今後の課題

「連携強化」においては、運営会議は通常業務に支障のない状況下で、原則月 1 回 オンライン会議の実施を継続。更なる「顔の見える関係作り」の構築のために、地域内の運営委員の増員を図りたい。

「専門職の能力強化」においては、過去 5 回の研修会のグループワークやアンケート結果から抽出、整理された現場での問題のキーワード「各々の組織内での問題」「専門職としての自己の問題（知識不足や働き方等）」「他組織との連携の問題」「地域の医療・介護等の問題」について、更に分析し、湯布院地区の看護職の抱えている課題として捉え、研修会や他の問題解決方法を模索したい。また、テーマによっては（例えば、BCP 策定等）同じ目的を持つ他の団体とコラボレーションし研修会を開催するなど、活動の形態を柔軟に考えていく方法も併せて検討したい。

運営方法では、オンラインでの会議や研修会のスムーズな企画・実施について更なるスキル取得に努めたい。今年で活動 4 年目に入る地域包括ケアの推進のための組織（ゆふ IN heart）が、無理せず、楽しく、目標達成へ向けたネットワーク体制の強化に向け、活動継続に努力したい。

Ⅳ. 活動の成果等の公表予定

なし

謝辞

今回の活動にあたり、コロナ禍で活動が上手く展開できずに悩んでいたところ適切な助言を頂き、活動延長にご尽力頂いた笹川保健財団の担当者さまをはじめ、助成いただいた 公益社団法人 笹川保健財団に深く感謝致します。また、ボランティアで活動いただいた「ゆふ IN Heart ♡」の運営委員、研修会の開催に当たってご協力頂いた講師、参加者のみなさまにも心より感謝致します。

以下資料

運営委員

「ゆふ INheart♡」(湯布院地区 看護職の連携推進の会)			(敬称略、順不同)
	施設名	職名	氏名
1.	由布市地域包括センター	センター長(保健師)	久澄 千里
2.	(同上)	保健師	高田 文子
3.	由布市健康増進課	課長(保健師)	武田 恭子
4.	由布市福祉課	課長(保健師)	馬見塚 美由紀
5.	JCHO 湯布院病院	看護部長	濱田 絵里
6.	有料老人ホーム虹	看護師	大杉 美由紀
7.	南由布クリニック	看護師	加来 睦美
8.	医療法人 福寿会 日野病院	看護部長	後藤 朋子
9.	医療法人 慈愛会 岩男病院	看護部長	右田 和子
10	ゆずの木クリニック	看護師	隈井 久美
11	(同上)	看護師	大久保 通子
12	(同上)	看護師	梅尾 さやか

運営会議 議事録(要点のみ)

令和2年度 第1回「ゆふ IN heart」 運営会議 メール会議 令和2年4月1日(水)	11名	議題 1. 今年度の委員会開催に関して意見交換 結論 新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みると当面の間、 対面の会議は避け、メール会議とする 今後の活動に関しては、コロナの感染状況で再検討
第2回「ゆふ IN heart」 運営会議 メール会議 令和2年5月15日(金)	11名	議題 1. お知らせ ① 2018年度在宅医療助成(前期)報告書原稿 のホームページへの掲載について ② 公益財団法人笹川保健財団事業部(地域保 健)2020年度助成事業決定通知書の交付に伴い、 5月29日(金)付けで指定の銀行口座へ助成金の 送金の件 2. 情報交換 新型コロナウイルス感染症への対応で困っていること 3. 情報提供 新型コロナウイルス感染症関連情報サイト紹介

第 3 回「ゆふ IN heart」 運営会議 メール会議 令和 2 年 6 月 5 日（金）	11 名	議題 1. 市の発熱外来に協力いただける看護師の急募 2. 情報共有
第 4 回「ゆふ IN heart」 運営会議 メール会議 令和 2 年 7 月 28 日（金）	11 名	議題 1. 情報提供 * 新型コロナ感染症関連オンライン研修のお知らせ * 県の補助事業での「感染管理認定看護師の派遣に 関して」 2. 今後の活動について 意見交換 結論 オンラインでの会議やオンライン研修の希望あり、今後、 実用可能かどうか事務局で検討とする アンケート実施
第 5 回「ゆふ IN heart」 運営会議 メール会議 令和 2 年 12 月 18 日（金）	11 名	議題 1. 活動延長について（R3.8 月まで） オンライン会議・オンライン研修への試行について 2. 町内の新型コロナ感染症に対する各施設の対応 について アンケート実施 （「診療・検査医療機関」としての指定の有無と実際 家族面会について・コロナ対応で困っていること等） 結果をまとめ各委員へ送付
第 6 回「ゆふ IN heart」 運営会議 zoom 会議 令和 3 年 1 月 27 日（水）	9 名	議題 1. 今後の活動計画について オンライン会議継続・オンライン研修会の企画 2. 情報共有 * コロナワクチン接種に関して→医療従事者から * 対応に困っていることについての意見交換 アンケート結果から
第 7 回「ゆふ IN heart」 運営会議 zoom 会議 令和 3 年 3 月 16 日（火）	7 名	議題 1. 今後の活動計画について 2 月中間報告提出→R3.12 月まで活動延長可 現状の課題抽出 2. 情報共有 * コロナワクチン接種に関して 迅速かつ正確に実施するには？ 先行接種終了した施設より報告 * 市の集団接種に関して

令和 3 年度 第 1 回「ゆふ IN heart」 運営会議 zoom 会議 令和 3 年 4 月 26 日（月）	8 名	議題 1. 今後の活動計画について コロナワクチン接種で、各医療機関は休日返上で対応している。8 月のオンライン研修は延期 2. 情報共有 ＊コロナワクチン接種に関して 高齢者の対応について 各施設の状況を共有 ＊対応に困っていることについての意見交換
第 2 回「ゆふ IN heart」 運営会議 zoom 会議 令和 3 年 6 月 9 日（水）	9 名	議題 1. 各員からの近況報告 2. 情報共有 ＊コロナワクチン接種の集団接種に関して 各委員の組織から看護師を派遣予定 質問に対して行政から説明 ＊今後のワクチン接種券郵送の予定について 夏期休暇を利用して 12 歳以上を主とする
第 3 回「ゆふ IN heart」 運営会議 zoom 会議 令和 3 年 11 月 5 日（金）	6 名	議題 1. 各員からの近況報告 2. 情報共有 ＊3 回目のコロナワクチン接種に関して ＊町内クラスター発生した施設の対応について 責任者からの報告 3. オンライン研修の企画について （感染が治まっている状況下で 12 月開催決定）
第 4 回「ゆふ IN heart」 運営会議 zoom 会議 令和 3 年 12 月 22 日（水）	7 名	議題 1. 第 5 回 ゆふ IN heart 研修会の評価 初めての zoom での研修会だったが、問題なく実施できた。目標達成と評価 2. 2020 年度からの活動評価 コロナ禍で、計画変更を余儀なくされたが、活動目的は、達成できたと評価 3. 会計報告 残金は返却予定 4. 来年の活動について オンライン会議と研修は継続 5. 情報共有 3 回目のコロナワクチン接種に関して

「公益財団法人 笹川保健財団 2020 年度 地域啓発活動助成による事業」

湯布院町内の看護職 各位

令和 3 年 11 月 26 日

ゆふ IN heart♡ 事務局 梅尾 さやか

「第 5 回 ユフイン heart♡ 研修会」開催のお知らせ

向寒の候 皆様にはなお一層のご活躍のことと拝察いたしております。

湯布院地区看護職の連携推進の会「ゆふ IN heart♡」では、湯布院町内で働く看護職が、お互いの現場での役割や機能を理解し、スムーズな連携に向け、情報を交換し顔の見える関係を築くこと。また、さまざまな課題をテーマに学習することを目的とし、過去数回、研修会を開催し、多くの方に参加していただきました。しかし、コロナ禍で集合研修を中止しておりました。

この度、オンライン（Zoom による）研修を企画致しましたので、ご多忙中とは存じますが、万障繰り合わせのうえ、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。なお、参加をご希望の方は、お手数ですが別紙の申込書にて、12 月 1 日（水曜）までにお申し込み下さい。

記

日 時：令和 3 年 12 月 6 日（月）18:30～19:30

内容：1. 「認知症初期対応チームの活動について」

講師 由布市認知症初期集中支援チーム

2. 「新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して」

講師 日野病院 看護部長 後藤 朋子氏

方法：Zoom によるオンライン研修

参加費：無料

対 象：湯布院町内で働く看護職等 90 名以内
(病院・介護・福祉関係施設・在宅領域・行政・学校関係等)

申込方法：FAX

後日、Zoom の ID と パスワードを記入いただいたメールアドレスに
お送りします

※お問い合わせ先：ゆふ IN heart♡ 事務局 (担当：梅尾 ゆずの木クリニック)

「公益財団法人 笹川保健財団 2020 年度 地域啓発活動助成による事業」

FAX 申込書



「第 5 回 ユ^ユフ^フイン heart♡ 研修会」

テーマ 1 「認知症初期対応チームの活動について」

テーマ 2 「新型コロナ感染症クラスターを経験して」

締 切：令和 3 年 12 月 1 日（水）

「ゆい IN heart♡」 事務局 隈井 FAX 0977-85-4246 行

..... <参加申込>

所属施設名 _____ 担当者名 _____

ご連絡先 電話 _____ FAX _____

参加希望者名	職種 看護師・保健師・ケア マネ等	メールアドレス 間違いの無いようにわかりやすい文 字でご記入下さい



「第 5 回 ゆふ IN heart♡ 研修会」

テーマ 1 「認知症初期対応チームの活動について」

講師 由布市認知症初期集中支援チーム 4 名

(小野里美氏 後藤睦美氏 湯地さつき氏 佐藤さゆり氏)

テーマ 2 「新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して」

講師 日野病院 看護部長 後藤 朋子氏

日 時 : 令和 3 年 12 月 6 日 (月) 18:30~19:30

方法 : Zoom によるオンライン研修

参加費 : 無料

対 象 : 湯布院町内で働く看護職等

(病院・介護・福祉関係施設・在宅領域・行政・学校関係等)

申込方法 : FAX 後日、Zoom の ID と パスワードを
記入いただいたメールアドレスにお送りします

湯布院地区看護職の連携推進の会「ゆふ IN heart♡」では、コロナ禍で、集合研修会も開催できない状況でした。この間、委員の不定期による web 会議で、地域の状況や課題など共有する活動を行ってきました。その中で、今回のテーマを決め、オンライン研修を開催することに決定しました。初めての Zoom による研修会です。

実際には「顔の見える関係」の研修会ではありませんが、湯布院町内の課題とされていることが、テーマとなっています。是非、参加していただければ幸いです。



参加をご希望される方は、お手数ですが別紙の申込書にご記入のうえ 12 月 1 日 (水) までにお申し込み下さい。(期間の猶予がなく申し訳ありません)

FAX : (ゆふ IN heart♡ 事務局 隈井) 宛

※お問い合わせ先 : 事務局 (担当 : 梅尾 ゆずの木クリニック)



「第5回 ゆふIN heart♡研修会」 参加者アンケート結果 令和3年12月8日

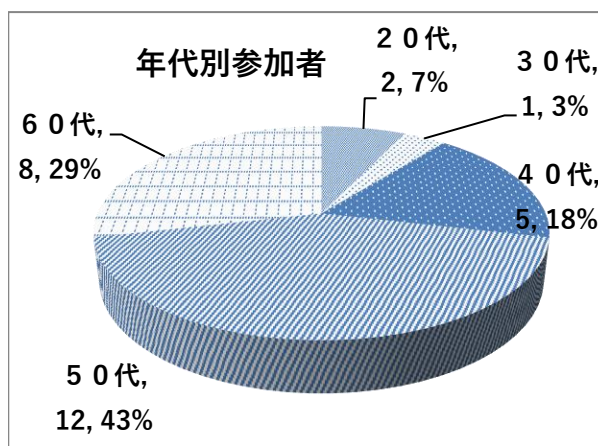
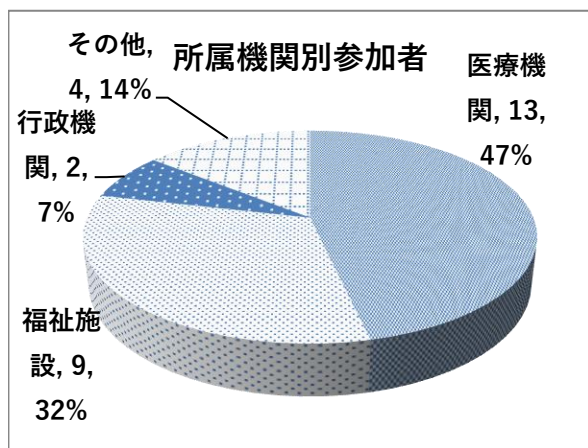
参加者数 43名

回収 全体 28名 (回収率67%)

1. あなた自身についてお聞かせ下さい

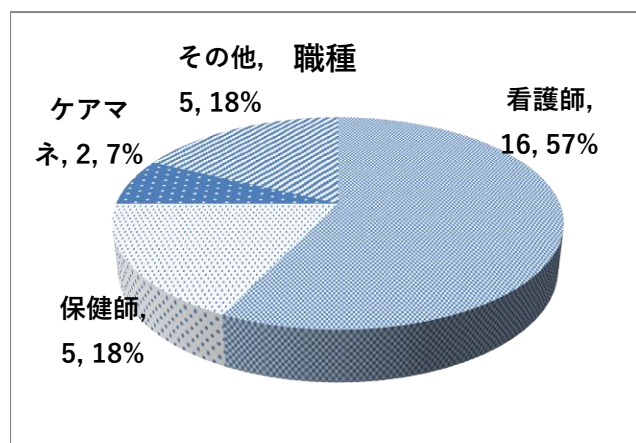
1) 勤務先 2) 年代について

属性	医療機関	福祉施設	行政機関	学校関係	その他
	13	9	2	0	4
年代	20代	30代	40代	50代	60代
	2	1	5	12	8

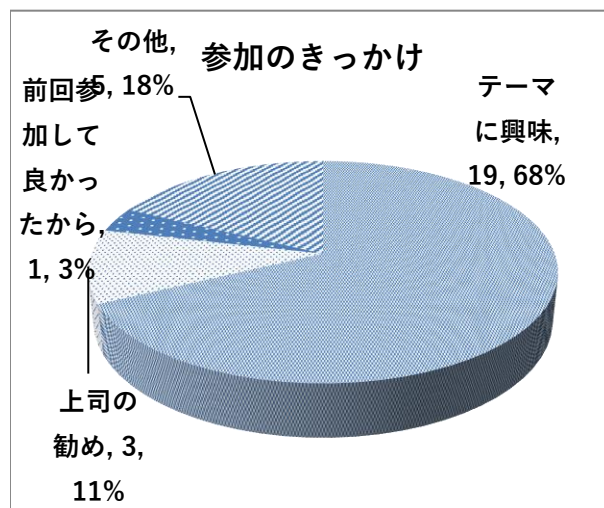


2. 職種は？

職種	看護師	保健師	ケアマネ	その他
	16	5	2	5 (医師・理学療法士・相談員・社会福祉士・介護職管理者)



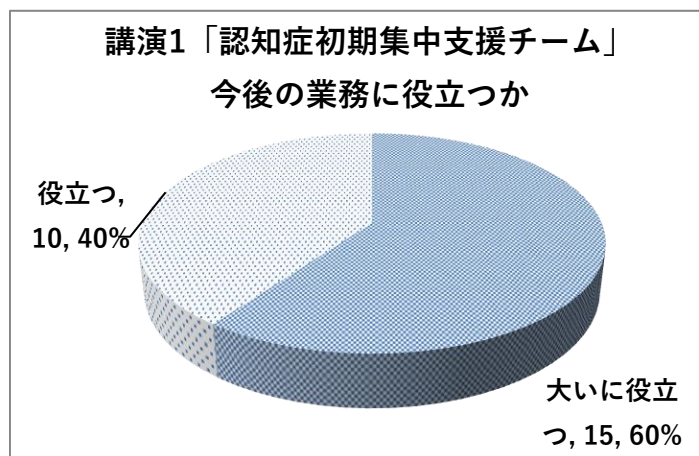
①テーマに興味があったから	19
②職場の上司に勧められた	3
③前回、参加して良かったから	1
④その他	5



3. 本日の講演はいかがでしたか？

1) 講演 1 の内容は、今後の業務に役立つかと思いますか？

大いに役立つ	15
役立つ	10
あまり役立たない	0
役立たない	0



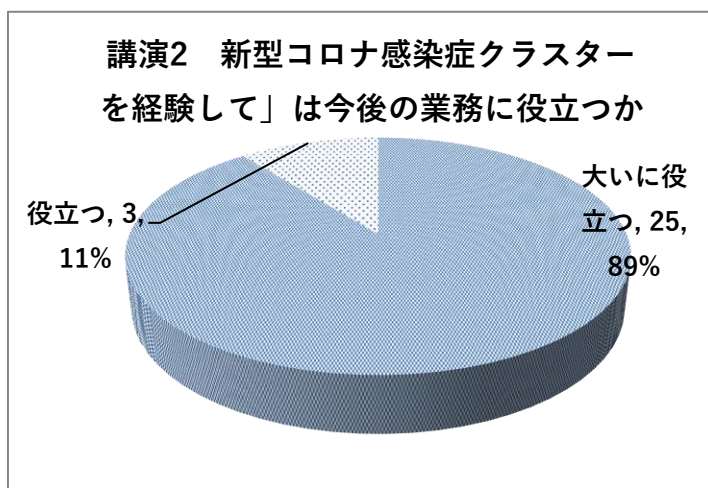
2) 講演「認知症初期集中支援チームの活動について」の意見・感想

- * 何度か活動報告を聞いていたので、メンバーが変わってもみなさん意欲的に、丁寧に取り組んでいる様子で、安心しました。今後もよろしくお願い致します。
- * 認知症初期集中支援チームの活動を知ることができました。ありがとうございました。
- * 役立つと思いますが、まだ全体的なイメージがわからない面がありますのでこれから勉強をして行かなくてはと思います
- * チーム員が忙しく支援にかけ回っている日常を目にしているので、地域の連携が今後さらに有機的に深まることを願っています
- * 初援チームの役割や立ち位置を認識できた。つい権利擁護班と同じ役割を期待してしまっていた。認識をあらためた。
- * 皆さんに由布市認知症初期集中支援チームの活動の説明をさせていただく機会を下さりありがとうございます。医療機関の皆様には、かかりつけ医として、オレンジドクターとして連携をお願いできたらと思います。チームでかかわる方にはかかりつけ医をもたない方、これまで病院にかかった事のない方がおられます。以前、「風邪をひいてかかったことがある」という情報が唯一、医療機関とつながるきっかけとなり御相談にうかがうことも多くあります。そんな時は、どうか助けていただければと思います。
- * 日頃の皆さんの活動内容や、チーム員の役割が分かりやすくまとめられていたと思います。チーム員さんの存在に本当に心強いなあと感じました。いつもありがとうございます
- * 地域での認知症の取り組みについて学びを深めることができた。患者さんへの支援に生かしていけるし、相談場所などを知ること、今後に生かしていきたい。地域で患者さんを支えていくためにも、活用していきたい。
- * 介護や看護にたずさわる者は周囲に認知症を疑われる人が居た時、どのような手続きや段階をふめば良いかだいたい分かりますが、そうでない方々は「どうしたら良いの？」と大きな不安を抱えると思います。その時に、この様な支援チームが組まれ、相談できるのは本当に助かる事で、その活動に頭が下がります
- * コロナの影響で事業の実施も難しい状況があると思いますが、システム的に遂行され、年々深化されていると感じました。発表ありがとうございました。
- * 認知症初期集中支援チームの活動を詳しく学ぶことが出来ました。認知症の本人だけでなく家族への支援も行っていくという役割など、取り組みを理解し、今後の認知症患者さんの対応に生かしていきたいと思っています。

- * 由布市でこのような活動をしていることを知る機会になりました。認知症の方の支援で「どこに相談したらよいかわからない」とよく聞きますので、早い段階で介入いただき、訪問等してもらえることは安心につながると思いました
- * 地域でどのように認知症を見ていくのか、サポート体制について説明頂き、ありがとうございました。住み慣れた地域でできる限り長く住み続けられるよう地域全体がサポートに対する意識があがるといいなと思います。
- * 近所の方が心配して受診の相談に来られたことがありました。本人が受診の意思がないことも多いので、その際の対応として認知症初期対応チームにご相談させて頂きたいと思いました。
- * 実は助けられたことがたくさんあります。もっと市民に知らせるべきです
- * 認知症の診断は受けていないが医療機関に繋がりたいと思った事例や問題行動が見られ対応に苦慮する事例を担当している。相談窓口がわかり、今後相談していきたいと思います
- * 認知症初期集中支援チームの目的、対象者、活動内容がよくわかりました。認知症の初期段階から適切に介入できるよう情報提供を行い、その後の経過観察など地域の中で連携を取りながら支え合える仕組み作りが大切だと思いました。
- * 大変参考になりました

1) 講演 2 の内容は、今後の業務に役立つと思いますか？

大いに役立つ	25
役立つ	3
あまり役立たない	0
役立たない	0



2) 講演「新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して」の意見・感想

- * 大変な経験の中、このようにご報告いただいたことに感謝いたします。また、今回の経験を生かして、コロナ患者さんの受け入れ施設として動かれていることに感激です。何かできる、でも、危険も多いこの状況で、非常に勇気を与えてくださったと思います。ご家族への対応も大変だったのではと感じています。どのように対応されたかまた、機会があればお話しいただければと思います。
- * 大変な状況を分かり易くお話し頂きありがとうございました。煩雑な業務の中で、医療を継続しなければならないのは職員と自分の命をかけた一月ではなかったかと推察いたします。本当にお疲れ様でした。この経験が今後の感染対策に生かされるものと思います。
- * クラスター発生の対応はご苦労が多かったことと思います。他人事ではありませんでした。災害級の対応でとのことで、日野病院さんの対応は大変参考になりました。
- * 本当に大変だったと思います。このような体験を包み隠さずに発表して頂きとても学びになりました。ありがとうございました。

- * 湯布院は観光客、別荘客多く市中感染リスクが高い町と考えています。自らの行動に注意していても感染の可能性あり。今回、日野 HP さんは早期に事態を収拾させたのは本当に敬服するばかりです。後藤部長の話で身震いさえ覚えました。ありがとうございました。
- * 非常に感染症発生したことに大変だったと思います。寝たきりや認知症の多い中、日頃からの対応も必要ですね。勉強になり日野病院の入院患者さんの状態がわかり、又病院全体でされている。すごいと思いました。1つ1つが勉強になりました
- * 限られたスタッフ数での対応、非常に大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。有事に備え、誰がどの業務を遂行することになってもいいようシミュレーションをしておく必要があると思いました。貴重なお話をありがとうございました。
- * コロナ患者さんのケアにあたった看護師へのメンタルサポートは？ケアにあたった看護師への手当（報酬）はどうしたか？まず、選択の基準はどうしたか？事前にアンケートなどで、意向の確認をしていたか？感染対応Nsと他のNsの導線の区別、ロッカー・食事場所・トイレなど、わかる範囲で聞きたかった。
- * 講演を聞いていてとても胸が痛くなりました。とてつもなく大変だったと思います。当院でも約10年前にノロウィルスのクラスターを出し、職員も患者も感染し大変だった事を思い出しました。でも一度そういう経験をすると、もう二度とそういう思いをしたくないし、感染に対しての注意が一層強くなるので、今後、クラスターが出る事はなくなると思います。ゾーニングについて、詳しくお話を聞きたいです。
- * ただただ大変御苦労された事と思います。自分の施設で発生した場合、どの様な対応をとるべきか、またとれるのか、改めて考えさせられました。職員の皆様に「お疲れ様でした」と言う言葉しかありません。
- * クラスターの対応本当にお疲れ様でした。そしてしっかりいろいろな視点からの振り返りもされていてすごいと思います。いつどこでクラスターが発生するかわかりません、自分の職場の業務継続計画を考える機会となりました。ありがとうございました。
- * 後藤部長をはじめ日野病院の皆様、大変お疲れ様でした。コロナ発生から終息迄の3週間、想像を絶するものだったと胸を痛めます。何かが起こってからは遅いとは思いますが、日野病院のお話を聴いて、事業継続計画の必要性を強く感じました。後藤部長をはじめ日野病院の皆様、大変お疲れ様でした。
- * 貴重なご経験を聞くことができました。ありがとうございました。保健所との連携が大変重要であることがわかりました。対応に苦慮されたことだけでなく、精神面の苦悩や辛さを感じました。感染者を出さないことが一番だとは思いますが、もしもの時には経験された方々の情報・対応を知恵にしていかなければならないと思いました
- * COVID-19 陽性者の発生から終息までの対応について詳しく知ることができて大変参考になりました。自施設でも発生した際のシュミレーションを日頃からスタッフで共有していくことが大切だと感じました
- * これからもいつ感染するかわからない状況が続くと思います。感染防止の継続と万一感染者が発生した場合の対応について日頃から考えておく必要を感じました。
- * 限られたスタッフの中で対応するのは大変だったと思います。特に介護度が高い患者さんの側でケアすることも多いと思うのでスタッフのメンタルをフォローしていくのは大変だったと思いますが、どのように支援されましたか？まだまだ、油断の出来ない状況なので今回の講演は非常に貴重な内容だったと思います。

- * 日常から少ない人数で看護にあたっているうえに、今回のクラスター対応は本当に体力・精神的にたいへん（適切な言葉が見つからないくらいです）な事態だったと思います。貴重なお話をありがとうございました。つくづく災害だと思いました。職員さんのメンタルヘルスがどうか回復されますように。
- * 貴重な情報を提供していただき今後の役に立つと思う。その中で部長が感じたジレンマや看護師の悩みや思いなど聞きたかった。
- * 第6波に備えて、非常に具体的に内容を説明して頂いたと思います。病院の中を守るスタッフが倒れないようにスタッフ管理することが大変であったと思います
- * 自分は絶対無理。よく頑張りました
- * 貴重な講演をありがとうございました。当事業所でも業務継続に向けた取り組み（計画立案・研修の実施）を考えていますが、まだ、出来ていないので一つ一つまとめていきたいと思う
- * 貴重な講演をありがとうございました。この講演を受け、各組織がBCP策定を考える動機付けになったと思う。

3) 開催時間・回数・内容・場所その他意見・感想

- * コロナ会議や、研修会が難しい中、開催いただきありがとうございます。この取組が、日々の仕事への意欲になっています。時間、内容、良いと思います。回数は今ぐらいのペースでいいのではないのでしょうか。続いていくことを願っています。
- * 本日は貴重な研修会の企画とお世話を頂きありがとうございました。業務の都合で時間ギリギリでメールを開くとzoomのID・パスが見つからず慌ててしまいましたが、他スタッフと共有し途中参加が叶いました。感謝いたします。
- * zoomで研修会を開いていただき、地域活動を知ることができました。開催時間は丁度良かったです。回数も2回/年程度で地域活動や大分県の医療状況など学びの場があればと思います。ホストお疲れ様でした。
- * ゆふ IN heart♡初めてのZOOM研修、スムーズな進行をありがとうございました。身近に活動の情報交換ができることは、とても有意義だと思いました
- * 地域に密着した集まりなので今回の日野病院も具体的なところまで話してくれたと思う。今後も継続してほしい
- * 糖尿病の方の支援についての研修があったらありがたいです
- * 地域連携について事例を通して、学べる機会があるとよい。情報共有に必要な情報シートの検討（互いにほしい情報は何か？）
- * 初めてのzoom研修参加であたふたしました。病院の医事課で配信をみていたのですが、意見・感想を言いたくても事務長やその他職員のいる中で、なかなか思う様に発言ができなかった事をおわびします。
- * ネットワークの確実な強化を感じました。これを活かしてケアマネ参加したテーマはいかがでしょう。時間（開始・所要時間）は、とても良かったと思います
- * BCP策定に向けた具体的な講義が聴きたい